

皮膚科

著 書

- 1 杉田和成：II. 皮膚科専攻医に伝えたい湿疹とは， 3. 湿疹の組織像. 湿疹のすべて， 第1章湿疹を伝える， 2022， 6， Gakken (旧：学研メディカル秀潤社)， 東京.
- 2 井上卓也：せつ， せつ腫症， よう. 今日の皮膚疾患治療指針 第5版， 889-890， 2022， 3， (株)医学書院， 東京.
- 3 井上卓也：Vibrio vulnificus 感染症. 今日の皮膚疾患治療指針 第5版， 899-900， 2022， 3， (株)医学書院， 東京.
- 4 永瀬浩太郎：血液疾患と皮膚病変. 今日の皮膚疾患治療指針 第5版， 1066-1068， 2022， 3， (株)医学書院， 東京.
- 5 永瀬浩太郎：Merkel 細胞癌. 今日の皮膚疾患治療指針 第5版， 777-778， 2022， 3， (株)医学書院， 東京.
- 6 永瀬浩太郎：9. メルケル細胞がんにおける免疫療法とバイオマーカー. WHAT'S NEW in 皮膚科学 2022-2023, WHAT'S NEW in 臨床皮膚科学 [注目のトピックス], 50-51, 2022, 4, メディカルレビュー社, 東京.
- 7 井上卓也, 杉田和成：case 2 ペラグラ. Visual Dermatology 特集：食生活と皮膚疾患—どのように食事指導するか？, Part 2. 栄養素不足／食生活が原因となる皮膚疾患, 21(6), 563-565, 2022, 5, (株)学研メディカル秀潤社, 東京.
- 8 井上卓也：17. 代謝異常症, 7. アミロイドーシス. 皮膚疾患診療実践ガイド 第3版—診察室ですぐに役立つ卓上リファレンス, 第4部疾患編, 2022, 5, (株)文光堂, 東京.

原著論文

- 1 *Ohata C, Tsuruta N, Yonekura K, Higashi Y, Saito K, Katayama E, Imafuku S; Western Japan Inflammatory Disease Research Group (Sugita K, Hashimoto A, Kuwashiro M et al): Clinical characteristics of Japanese pustular psoriasis: A multicenter observational study. J Dermatol, 49(1): 142-150. 2022, 1.
- 2 *Kimura R, Sugita K, Horie T, Yamamoto O: Dual role of basophils in the pathogenesis of bullous pemphigoid elucidated by pathological and ultrastructural studies. Eur J Dermatol, 32(3): 322-333, 2022, 5.

総 説

- 1 杉田和成：私の視点 壊死性筋膜炎. 皮膚病診療 特集：診断に苦慮した症例, 44(1)：85-85, 2022, 1.
- 2 杉田和成：マイオピニオン 健康と安全について考えたこと—過去・現在・未来. 臨床皮膚科, 76(2)：104-105, 2022, 2.
- 3 杉田和成：臨床講義 壊死性軟部組織感染症—病態から考える診断と治療へのアプローチ—. 皮膚科の臨床, 64(12)：1981-1985, 2022, 11.

症例報告

- 1 *Yoshida A, Sugita K, Yamamoto O: Infiltrative Erythemas and Nodules on a Unilateral Cheek Following Inappropriate Use of a Topical Steroid. Yonago Acta Med, 65(1): 88-89, 2022, 1.

- 2 *Yoshida A, Sugita K, Yamada N, Goto H, Yamamoto O: Adult-onset Still's Disease Secondary to Cytophagic Histiocytic Panniculitis. *Acta Derm Venereol*, Vol.102, adv00639, 2022, 1.
- 3 Oka R, Inoue T, Hashimoto A, Tsuruta N, Nagase K, Sugita K: Improvement of ixekizumab-related interstitial pneumonia following its discontinuation in a patient with psoriatic arthritis. *Eur J Dermatol*, 32(2): 281-282, 2022, 4.
- 4 *中川 彩, 永瀬浩太郎, 栗原有紀, 田代宏樹, 井上卓也: 症例 T-SPOT 陽性患者に生じた壊死を伴う皮下型サルコイドーシスの1例. *西日本皮膚科*, 84(4): 321-324, 2022, 8.
- 5 *Ogawa S, Inoue T, Sugita K: Pseudallescheria boydii infection associated with IgG4-related disease. *Eur J Dermatol*. 32(5): 653-655, 2022, 9.

学会発表

国内全国規模の学会

- 1 柳瀬正平, 井上卓也, 村中友加里, 永瀬浩太郎, 杉田和成: CD 8 と CD56が陽性であった菌状肉腫. 第121回日本皮膚科学会総会 (ハイブリッド開催). 2022, 6, 2-5 (現地開催及びLIVE配信), 2022, 7, 19-2023, 3, 31 (E-learning).
- 2 井上卓也: 皮膚から血液を見る血液疾患とデルマトローム. 第121回日本皮膚科学会総会 (ハイブリッド開催). 2022, 6, 2-5 (現地開催及びLIVE配信), 2022, 7, 19-2023, 3, 31 (E-learning).
- 3 *嘉村真知子, 井上卓也, 杉田和成: 尋常性乾癬にリサンキズマブを使用し改善をみた原発性胆汁性胆管炎. 第121回日本皮膚科学会総会 (ハイブリッド開催). 2022, 6, 2-5 (現地開催及びLIVE配信), 2022, 7, 19-2023, 3, 31 (E-learning).
- 4 *大森 俊, 池上隆太, 加藤裕史, 小森敏史, 清水知道, 杉田和成, 谷崎英昭, 中島英貴, 林周次郎, 松尾梨沙, 三井 広, 柳澤宏人, 山口道也, 山崎 修, 中西健史: 糖尿病性潰瘍・壊疽の検査と治療 多職種連携のすすめ. 第121回日本皮膚科学会総会 (ハイブリッド開催). 2022, 6, 2-5 (現地開催及びLIVE配信), 2022, 7, 19-2023, 3, 31 (E-learning).
- 5 岡 莉恵, 井上卓也, 西 純平, 相島慎一, 大島孝一, 永瀬浩太郎, 杉田和成: 鼻尖部偽リンパ腫として治療中に, 口唇や眼瞼に結節を生じた粘膜関連リンパ組織節外性辺縁帯リンパ腫. 第38回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会 (ハイブリッド形式開催). 2022, 6, 24-25 (現地開催及びLIVE配信), 2022, 8, 17-9, 14 (オンデマンド配信).
- 6 杉田和成: アトピー性皮膚炎における上皮バリア機能と IL-4/13の関わりについて. 第71回日本アレルギー学会学術大会 (ハイブリッド開催), イブニングシンポジウム. 2022, 10, 7-9 (現地開催及びライブ配信), 2022, 11, 1-30 (オンデマンド配信).
- 7 杉田和成: アトピー性皮膚炎の病態とバリシチニブの臨床的意義を考える. 第74回日本皮膚科学会西部支部学術大会 (ハイブリッド開催), モーニングセミナー. 2022, 10, 22-23 (現地開催+LIVE配信).
- 8 永瀬浩太郎: 紫外線と皮膚がん. 第38回日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会 (ハイブリッド開催). 2022, 4, 23-24 (現地開催+LIVE配信), 2022, 5, 12-6, 13 (オンデマンド配信).
- 9 永瀬浩太郎: メルケル細胞癌. 第121回日本皮膚科学会総会 (ハイブリッド開催). 2022, 6, 2-5 (現地開催及びLIVE配信), 2022, 7, 19-2023, 3, 31 (E-learning).
- 10 永瀬浩太郎: メルケル細胞ポリアーマウイルス. 第38回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会 (ハイブ

- リッド形式開催). 2022, 6, 24-25 (現地開催及びLIVE配信), 2022, 8, 17-9, 14 (オンデマンド配信).
- 11 永瀬浩太郎:メルケル細胞癌診療の実際. 第38回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会 (ハイブリッド形式開催). 2022, 6, 24-25 (現地開催及びLIVE配信), 2022, 8, 17-9, 14 (オンデマンド配信).
地方規模の学会
- 1 杉田和成:アトピー性皮膚炎の歴史と免疫の理解 外用療法について. 第31回佐賀県臨床皮膚科医学会. 2022, 4, 9.
 - 2 杉田和成:アトピー性皮膚炎の病態と自然リンパ球. 日本皮膚科学会 徳島地方会. 2022, 5, 29.
 - 3 杉田和成:免疫学から見たアトピー性皮膚炎治療の進歩. 日本皮膚科学会 第235回熊本地方会 (ハイブリッド開催). 2022, 9, 4 (現地開催+ZOOM).
 - 4 米倉直美:全身麻酔中に生じたアナフィラキシーショックの原因検索. 日本皮膚科学会 第86回佐賀地方会. 2022, 5, 22.
 - 5 井上卓也, 杉田和成:慢性骨髄性白血病の治療中に生じた粘膜関連リンパ組織節外性辺縁帯リンパ腫. 第78回日本皮膚科学会 高知地方会 (ハイブリッド開催). 2022, 4, 2-3 (現地開催+ZOOM).
 - 6 杉田和成:患者さんの病態を探求することの大切さ~私の研究への思いとこれから~. 第286回日本皮膚科学会岡山地方会・第52回岡山研究皮膚科フォーラム. 2022, 5, 14.
 - 7 橋本安希, 米倉直美, 永瀬浩太郎, 井上卓也, 杉田和成:当院における2021年度の壊死性筋膜炎11症例について. 日本皮膚科学会 第86回佐賀地方会. 2022, 5, 22.
 - 8 西 純平, 橋本明子:2種類のCOVID-19ワクチンで凍瘡様皮疹を生じた1例. 日本皮膚科学会 第86回佐賀地方会. 2022, 5, 22.
 - 9 *橋本明子, 西 純平:びまん性新生児血管腫症の1例. 日本皮膚科学会 第86回佐賀地方会. 2022, 5, 22.
 - 10 岩永知未:ダウン症に合併した蛇行性穿孔性弾力線維症の1例. 日本皮膚科学会 第86回佐賀地方会. 2022, 5, 22.
 - 11 *中川 彩, 杉田和成:ビスホスホネート製剤と顎骨壊死. 日本皮膚科学会 第403回福岡地方会 (ハイブリッド開催). 2022, 11, 26-27 (現地開催+ライブ配信).
 - 12 池田宏器, 井上卓也, 柳瀬正平, 田中絵里子, 永瀬浩太郎, 杉田和成:上腕に生じ, 所属リンパ節と肺に転移を来したbasosquamous carcinoma. 日本皮膚科学会 第234回熊本地方会 (WEB開催). 2022, 3, 12-13.
 - 13 池田宏器, 井上卓也, 田中佳世, 永瀬浩太郎, 杉田和成:頭蓋骨破壊を来した巨大頭部熱傷瘢痕癌. 日本皮膚科学会 第37回島根地方会 (ハイブリッド開催). 2022, 8, 6-7 (現地開催+WEB配信).
 - 14 西島君耶, 米倉直美, 永瀬浩太郎, 井上卓也, 杉田和成:左頸部に生じた原発性皮膚CD4陽性小型・中型T細胞リンパ増殖異常症. 日本皮膚科学会第400回福岡地方会 (ハイブリッド開催). 2022, 3, 13 (現地開催及びWEB配信).
 - 15 田中亜季, 井上卓也, 杉田和成:耳介に生じ, lupus pernio との鑑別を要したlupus vulgaris. 日本皮膚科学会 第150回広島地方会 (ハイブリッド開催). 2022, 2, 26-27 (現地開催+WEB配信).
 - 16 柳瀬正平, 井上卓也, 岩永知未, 永瀬浩太郎, 杉田和成:頭部に異なる臨床像の複数病変を生じた

epithelioid malignant peripheral nerve sheath tumor. 日本皮膚科学会 第75回愛媛地方会. 2022, 10, 8 - 9.

17 永瀬浩太郎：広がる治療選択肢 生物学的製剤と分子標的薬. 第32回佐賀県臨床皮膚科医会. 2022, 8, 6.

18 井上卓也：et のつく皮膚疾患～PLEVA etc～. 第33回佐賀県臨床皮膚科医会. 2022, 12, 10.

その他の学会

1 杉田和成：光アレルギーの臨床～じんま疹の話題も含めて～. 佐賀県医師会学術講演会. 2022, 1, 13.

2 杉田和成：光アレルギーの臨床と病態～じんま疹の話題も含めて～. 皮膚アレルギー Update2022 in 北海道. 2022, 5, 21.

3 杉田和成：アトピー性皮膚炎の病態と治療法の進歩. 神奈川皮膚科免疫アレルギー懇話会. 2022, 7, 14.

4 米倉直美：全身麻酔中に生じたアナフィラキシーショックの原因検索. 第29回佐賀県アレルギー講習会. 2022, 2, 10.

5 永瀬浩太郎, 田中佳世：熱傷の診療のコツ. 第48回佐賀大学こどもセンター 多科合同セミナー. 2022, 2, 15.

6 永瀬浩太郎：基礎疾患により治療選択に苦慮した悪性黒色腫. 肥前皮膚腫瘍カンファレンス. 2022, 9, 21.

7 永瀬浩太郎：アトピー性皮膚炎診療におけるオルミエント内服治療. Derm ちゃんねる. 2022, 8, 17.

研究助成等

| 職名 | 氏名 | 補助金(研究助成)等の名称 | 種目 | 1:代表 2:分担 該当番号を記入 | 研究課題等 | 交付金額(千円) |
|----|-------|---------------|---------|-------------------------|------------------------------|----------|
| 教授 | 杉田 和成 | 科学研究費助成事業 | 基盤研究(C) | 1 | 3型自然リンパ球の皮膚炎と皮膚バリアにおよぼす影響の解明 | 1,040 |

学術(学会)賞

| 職名 | 氏名 | 学術(学会)賞名 | 受賞課題 |
|----|-------|---------------------------------|------|
| 教授 | 杉田 和成 | JACI Outstanding Reviewer Award | |